

指定管理業務評価表

施設名	小牧市南部コミュニティセンター		
対象年度	平成30年度	評価担当部	市長公室
指定管理者名	小学館集英社プロダクション・ダイケングループ (法人番号：9010001018924・9010001122288)		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
職員体制	常勤職員：4人 非常勤職員：5人 合計：9人		

1. 利用実績

(1) 利用者数

	施設利用者	個人利用者	自由来館者	合計
4月	12,631	25	3,271	15,927
5月	13,251	34	3,063	16,348
6月	14,501	28	4,768	19,297
7月	14,643	44	3,261	17,948
8月	12,772	57	6,644	19,473
9月	13,917	33	2,481	16,431
10月	14,166	24	4,007	18,197
11月	14,975	29	4,593	19,597
12月	14,106	16	2,512	16,634
1月	13,215	28	3,048	16,291
2月	14,420	44	4,679	19,143
3月	13,829	32	2,606	16,467
合計	166,426	394	44,933	211,753

(2) 増減要因

平成30年度の合計利用者数は211,753人と前年度と比較して▲3,446人(▲1.6%)と微減する結果となった。

内訳を見ると個人利用を含めた施設利用者が増加しているのに対し、自由来館者が大きく減少しているが、これは特に学習目的の児童生徒の利用減と運営協議会等のスタッフの負担軽減のため一部のイベントの実施方法を改め

たことが要因と思われる。

これまで増加を続けてきた利用者数だが、ここ2年は横ばいから微減と頭打ち感があり、今後の中心市街地の再開発に伴う公共施設の整備・新設等によっては、利用者の取り合いになることも考えられる。

地域の交流拠点として他の施設にない独自色を打ち出すことで、利用者の維持に努められたい。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	平成30年 5月	回答数	158名
	平成30年 11月		200名
利用者の 主な意見	たまに駐車場出口から入ってくる車があって危ないです。		
具体的な 対応状況	出入口の看板について、運転者からも分かりやすい掲示方法を検討します。		

3. 収支の実績

(単位：千円)

		29年度 (現年決算額)	30年度 (現年決算額)	令和元年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収 入	指定管理料	33,628	33,900	34,679	
	事業収入	0	0	0	
	合計	33,628	33,900	34,679	
支 出	人件費	15,835	16,246	16,546	
	旅費	23	29	45	交通費等
	需用費	6,931	6,965	6,908	光熱水費・修繕費等
	役務費	446	423	470	通信費・手数料等
	委託料	4,913	4,626	4,918	清掃警備委託等
	使用料及び 賃貸料	1,243	793	1,139	借上料、受信料等
	その他	4,237	4,818	4,653	間接費等
	合計	33,628	33,900	34,679	

4. 評価

項目	市の評価
運営業務	協定書、事業計画書に沿った施設管理が実施されている。
維持管理業務	<p>休館日等を利用して設備点検や害虫駆除などの維持管理業務が計画どおり実施されている。</p> <p>清掃管理については、業務委託による清掃のほか、施設職員により日頃から清潔な施設を保つよう努められており、利用者アンケートにおいても良い評価が得られている。</p> <p>施設の安全管理については、施設職員による自主点検が定期的実施されており適正に管理されている。</p>
自主事業	<p>運営協議会の10周年記念式典に併せ、既存事業の実施にあたっては記念事業として施設の10周年を積極的にPRできていた。また、運営協議会をはじめ、スタッフの負担を軽減すべく一部の事業を分割して実施するなど工夫も見えた。</p> <p>引き続き、各行事の実施にあたっては、地域と連携のうえ、施設利用者の増加に繋がるような事業の企画・実施に努めること。</p>
サービスの質	利用者アンケートの結果から利用満足度のほか、職員の対応や施設設備についても利用者から良い評価が得られている。今後も利用者がより快適に利用できる施設となるようサービスの質の向上を図るよう努めること。
収支状況及び経費節減	収支状況については、一部の費目において流用があったが、計画的かつ適正に執行されている。引き続き、節電対策等の取り組みにより経費節減に努めること。
その他 (緊急時の対応等)	危機管理マニュアルの更新や普通救命講習、不審者対応訓練など緊急時対応に関する施設職員の研修が計画的に実施されている。また、運営協議会や地域住民と連携した防災訓練や防犯活動の実施など、地域と連携した安全管理体制が構築されている。